

2024年11月27日

1 2025年3月期中間期の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月中間期	64,967	5,006	5,373	3,475

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月中間期	158,898	96,063	58.3

（注）連結子会社は19社

2 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	132,000	3.3	10,000	△9.6	11,000	△8.6	7,000	△8.4

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境が改善、インバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかな回復基調で推移しています。一方、不安定な国際情勢や資源・エネルギーの高騰等により、依然先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属する建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間建設投資も持ち直しの動きがみられますが、労務費や資材・エネルギー等の建設コストの上昇により、収益面では厳しい状況が続いています。

こうした中、当社グループはデジタル投資や技術開発等を通じた既存ビジネスの革新や、社員の成長や働き甲斐を重視する、「ヒト」を起点とした経営に注力してまいりました。その結果、中間連結会計期間の連結業績は、売上高649億67百万円、営業利益50億6百万円、経常利益53億73百万円、親会社株主に帰属する中間純利益34億75百万円となりました。

当下半期の見通しとしましては、引き続き建設投資は堅調に推移するものと想定しておりますが、労務費や物流費、資材価格の上昇が見込まれ、依然先行きは不透明な状況で推移するとみており、現時点において2025年3月期の連結業績予想は、2024年5月29日に公表いたしました数値から変更はございません。

以上